

のき 議うご

上島町議会

平成19年

第2回定例会

平成19年上島町議会第2回定例会が、6月26日に招集され、「上島町分担金徴収条例の一部を改正する条例」など11議案が審議され、可決・同意されました。

この日の本会議では、はじめに上村町長から諸般の行政報告があり、一般質問の後、11議案の審議が行われました。

なお、上村町長の諸般の行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

上村町長

諸般の行政報告

上島町もデイゴの赤い花と、ブーゲンビリアの彩り鮮やかな花が咲き競い、本格的な夏を迎える時候になってまいりました。

本日は、平成19年上島町第2回定例会議を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

さて、平成18年度の決算は、当初予算時に取崩しとしていた約14億円の基金を、町税や普通交付税・特別交付税等の増、ならびに行財政改

革等の効果により1億8千万円に抑えることができました。

平成18年3月の定例議会「諸般の報告」において、徳川家康の「不由を常と思えば不足なし、心に望み起らば、困窮したる時を思い出すべし」という言葉で表現したお願いが、町民の皆様のご理解と役場職員の見解と努力により、上島町にとってより良い方向に進み、基金総額においても合併当初の約35億円台を割り込んでいること、行財政の運営が行えていることに感謝を申し上げる次第です。

しかし、今後も財政状況の厳しさには変わりなく、19年度当初予算においても12億9千万円の基金という「定期預金」を取り崩すことで凌いでおりますので、上島町の現状をご理解の上、身の丈にあった支出を計画的に行うために、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

3月定例会後の主な活動報告として、3月28日には、廃棄物処理行政の一元化と効率化に向けたクリーンセンターの起工式、町民の安全と安心の要となる消防庁舎の竣工式が執り行われ、日常生活の環境整備の向上に新たな施策が動き始めました。

4月には真新しい制服に身を包み、笑顔溢れる入学式に多数出席させていただきました。また、新年度の人事異動に対応するための挨拶回りや要望活動を、県や四国地方整備局・国会や各省庁を中心に行いました。

5月には広報等によりお知らせしたように、7日・8日と韓国巨済島からの訪問があり、魚島の先人達との歴史を紐解きながら話に花が咲きました。今後はこの縁を大切に、上島町として新たな交流に繋げたいと考えています。

同月16・17日には、東京で開催された全国治水大会総会に合わせ、上島町の農産物と加工品の営業を兼ねたわが物産センター職員と共にまいりました。120年の伝統と実績を誇る「新宿高野本店」・「伊勢丹」・「株式会社 イー・エム・プランニング」・「築地市場内」株式会社 西太」・「株式会社 風見」・新橋の愛媛と香川両県のアテナショップである「旬彩館」をはじめ、関東エリアの民間業者にサンプルを提供し新規商品の紹介や新規取引業者の開拓に努めました。

特に「新宿高野本店」では、6月18日から岩城の青いレモンとプリントされたマーマレードの販売が開始されましたので、東京在住の知り合いの方などに声をかけていただけただけに幸いです。

5月28日には、釧路で開催された日本港湾協会総会に出席し、島における港湾の大切さを国交省や政府に申し立て、6月6日から隠岐の島々での全国離島振興協議会において、離島振興法に沿った活動内容の協議や、本年4月に制定された「海洋基本法」の「離島に関し、海

岸等の保全、海上交通の安全の確保並びに海洋資源の開発及び利用の為に施設の整備、周辺の海域の自然環境の保全、住民の生活基盤の整備その他の必要な措置を講ずるものとする」という主旨に則った離島に対する支援対策の決議を採択し、7月には来年度予算に向けた予算要望活動を実施することを決定致しました。

6月10日に大阪で開催された関西岩城会では、1年ぶりに元気な皆さんと再会し、「郷土を愛する心」と「ふるさと」の温かさを熱く感じました。

上島町産業振興計画の重要施策に位置付けている「造船振興計画」も新たな展開を迎え、6月16日の岩城・生名漁協の総会において瀬越（オソゴエ）地区海面埋め立ての同意をいただき、理事会との工程協議により9月から工事開始の計画で進んでおります。生名立石港周辺整備も工事内容の組み換えがあるものの、予定以上の予算が国から内示されましたので、今回の補正予算にも計上しております。

今後は設計という準備段階から実施工事に移りますので、町民の皆様や近隣地域住民の皆様をはじめ関係各位の変わらぬご高配とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に国政の状況ですが、6月19日に経済財政運営の基本指針となる「骨太の方針2007」が閣議決定

されました。今回の方針は「美しい国」へのシナリオであり、特に上島町に関連することとして、「地域活性化」「地方分権改革」「教育再生」「少子化対策の推進・再チャレンジ支援」等が挙げられます。

今後は、この「骨太の方針2007」を各課で細かく分析し、上島町の政策に乘せ、来年度の予算編成にいかに対応させるかが「頑張る地方」として力の見せ所であると考えています。

また、先日の官庁速報によると、町内会や自治会、消防団等が取り組むコミュニティ活動を支援する「コミュニティ基本法」（仮称）の制定を柱とした地域社会の再生策がまとめられ、秋に予定される臨時国会に議員立法で提出される方針になっています。この基本法は、より多くの住民の参加と活動を促し、その活動が評価される仕組みをつくるものであり、国が直接町内会や自治会に対し優遇制度を設け市町村が各分野で自治会などと連携を拡大する目的があり、過疎・高齢化により自治会等コミュニティの体力が衰えつつある本町にとつては、法案の早期成立が待たれます。

現在上島町においても「ふるさと事業」制度を設け、コミュニティ活動を側面から支援しており、平成18年度においては23件、総事業費約720万円のうち約380万円を補助致しました。

財政状況が厳しい中ではあります。が、以前のような全国一律の補助金ばら撒き制度ではなく「頑張る地方応援プログラム」に象徴されるように、やる気がある町村、情熱がある団体には優遇措置が用意されております。地域を愛し地元を良くするために活動し、事業を提案できる行政や自治会・団体などに光が当たる制度が確立されつつあります。

上島町も今後、「待ち」の姿勢ではなく「提案」と「攻め」を職員全員の指針とし、「情熱」を持って全ての事業に取り組んでまいりたいと考えておりますので、町民の皆様の変わらぬ御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今話題のベストセラーである「佐賀のばいばあちゃん」という本の中に、「おはよう、と言えたら素晴らしい」「こんにちは、と言えたらカッコイイ」「ありがとう、と言えたら天才だよ」という言葉があります。

3月の定例議会で、新たな予算措置なしでも上島町を明るく温かい「ふるさと」にする「心のふれあいゼロ予算事業」として、子供達が通学時に交わしてくれる元気の良い爽やかな挨拶「おはようございます」を大人の私たちが見習い実践することを提案いたしました。が、今回は「こんにちは」と「ありがとう」を加えることで、上島町が「日本一挨拶を交わす町」になることを熱望いたします。

議案の主な内容及び議決結果

条例議案

■上島町分担金徴収条例の一部を改正する条例

地区集会所の整備について、受益者に応分の負担を求め、その必要な費用に充てるもの。

原案可決

補正予算議案

■平成19年度上島町一般会計補正予算及び特別会計（6会計）補正予算（全7議案）

●一般会計

【補正額】 7億2060万円

【総額】 72億2360万円

●特別会計（6議案）

国保診療所	補正額	180万円
	総額	6190万円
老人保健	補正額	310万円
	総額	14億4510万円
下水道	補正額	1000万円
	総額	6億1800万円
CATV	補正額	▲150万円
	総額	7630万円
農業集落排水	補正額	400万円
	総額	1億6500万円
特別養護老人ホーム	補正額	一万円
	総額	2億2770万円

原案可決

その他議案

■新たに生じた土地の確認について

■字の区域変更について
公有水面の埋立てにより、新たに生じた土地を確認し、上島町弓削下弓削及び弓削明神の区域に編入したもの。

新たに生じた土地及び字の区域

土地の所在	字	面積(m ²)
上島町弓削下弓削1030の2から1030の4まで及び1036並びに弓削明神652の地先	弓削下弓削	839.42
上島町弓削明神60から63まで、69の2、70、73、74、305、310の1、310の2、650の2及び653の地先	弓削明神	519.39

■教育委員会委員の任命について

【住所】上島町生名1589番地

【氏名】村上修

【生年月日】昭和33年12月6日

可決

同意